

SONY[®]

はじめにお読みください

かんたんスタートガイド

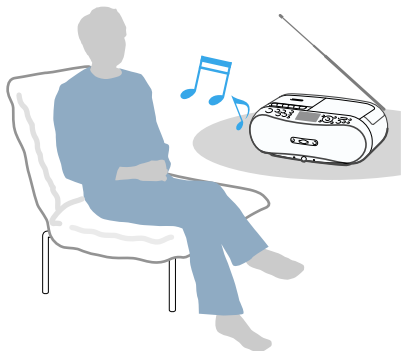
パーソナルオーディオシステム

CFD-RS501

こんなことができます

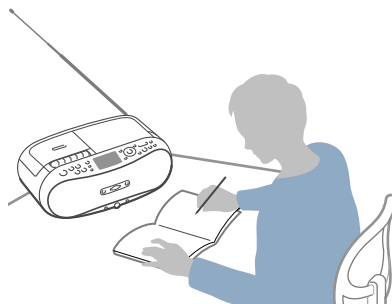
まず「はじめに準備する」
(4～7ページ)をお読みください

聞く



CDを聞く.....8ページ
メモリーカードを聞く...10ページ
ラジオを聞く.....12ページ
テープを聞く.....13ページ

録音する



メモリーカードへの録音
..... 14～18ページ
ラジオの予約録音.....16ページ
テープへの録音... 19～21ページ

カラオケをする



カラオケをする.....22ページ

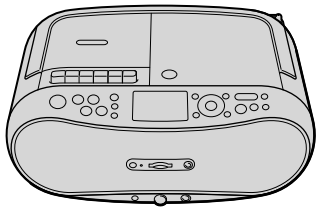
- テープのオートリバース機能はありません。
- マイクは内蔵していません。
- ボーカルキャンセル機能はありません。

お買い上げいただきありがとうございます。

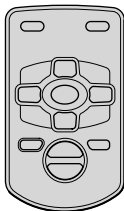
この「かんたんスタートガイド」は、本機をはじめてお使いになるときに必要な準備、初期設定、基本的な操作方法を説明しています。その他の機能の説明、操作方法について詳しくは、別冊の「取扱説明書・保証書」をご覧ください。

箱に入っているもの

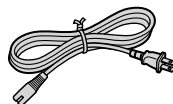
- 本体



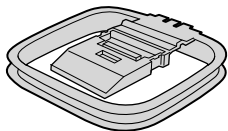
- リモコン
1個



- 電源コード
1本



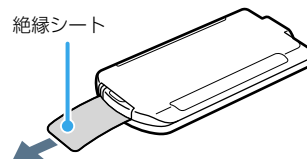
- AMループアンテナ
1個



- かんたんスタートガイド(本書) 1部
- 取扱説明書・保証書 1部
- 周波数一覧表 1部
- ヘッドクリーニングキット 1組

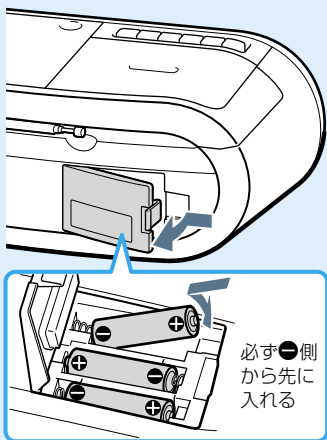
リモコンを使う前に

リモコンにはリチウムボタン電池1個が内蔵されています。お使いになる前に、絶縁シートをリモコンから引き抜いてください。

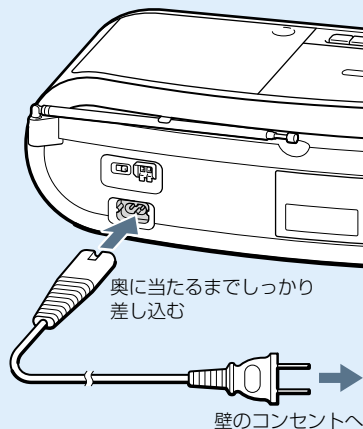


はじめに準備する

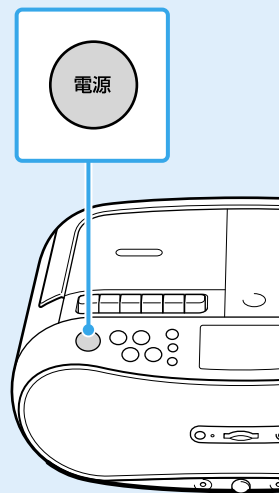
1 時刻保持用電池(時計用電池) (単3形3本、別売)を入れる



2 電源コードをつなぐ



3 電源ボタンを押して 電源を入れる

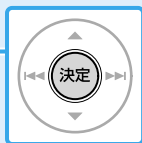


- 本機は時計用電池のみでは動作しません。必ず電源コードをお使いください。
- 乾電池を入れていない状態で電源コードを抜くと、時計はお買い上げ時の設定になります。電源コードを抜くことがなければ、乾電池を入れる必要はありません。

4 お使いになる地域を設定する

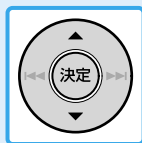
地域に合わせた放送局が登録されます。

- ① 決定ボタンを押して次に進む



お住まいの地域の
ラジオ局を
登録します。
次へ

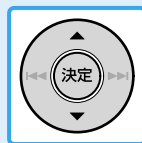
- ② ▲▼ボタンで
地方を選び、決定
ボタンを押す



地域設定
地域設定なし
北海道
東北地方

お住まいの地方を
選んでください。

- ③ ▲▼ボタンで
地域を選び、決定
ボタンを押す



北海道
札幌
函館
旭川

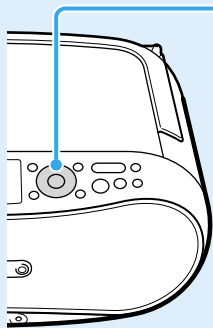
お住まいの地域を
選んでください。

- ④ 決定ボタンを
押して登録を
完了する



地域設定
放送局の登録が
変更されます。
OK

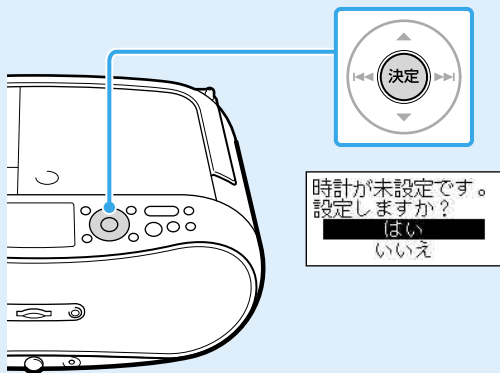
設定が保存されます。



5 時計を合わせる

予約録音機能を使ったり、録音の日時を録音データに記録するために、時計の設定が必要です。

- ① 決定ボタンを押して次に進む



- ② もう一度決定ボタンを押して、「年」の設定を開始する



「年」の数字が選ばれた状態で決定ボタンを押すと、数字の横に「▲▼」が表示されます。

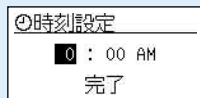



- ③ ▲▼ボタンで「年」を合わせ、決定ボタンを押す



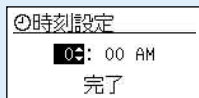
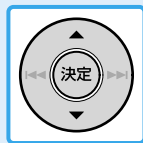
手順②～③と同じように操作して「月」や「日」も合わせます。最後に「次へ」が選ばれたら決定ボタンを押します。

- ④ もう一度決定ボタンを押して、「時」の設定を開始する



「時」の数字が選ばれた状態で決定ボタンを押すと、数字の横に「」が表示されます。

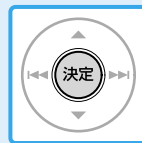
- ⑤ ▲▼ボタンで「時」を合わせ、決定ボタンを押す



手順④～⑤と同じように操作して「分」も合わせます。

時刻が自動補正されるためには、現在時刻との差が3分以内になるように時計を設定してください。

- ⑥ 「完了」が選ばれたら決定ボタンを押す



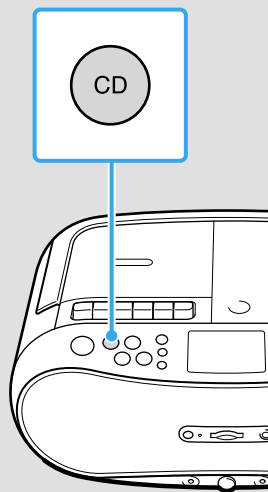
設定した日時が保存されます。

これで準備は完了です。使ってみましょう！

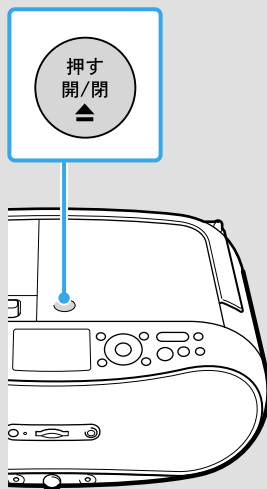
CDを聞く

聞く

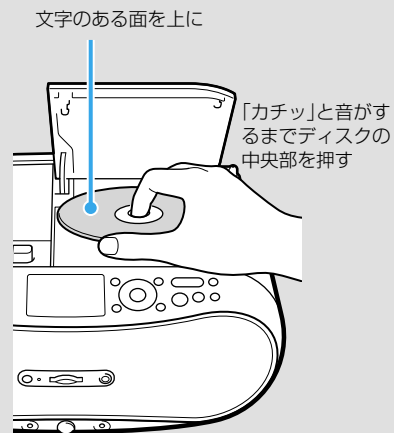
1 CDボタンを押す



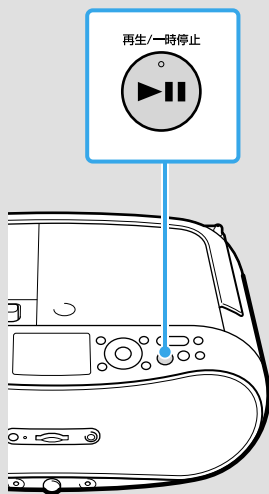
2 開/閉 ▲部を押して CDぶたを開ける



3 ディスクを入れ、CDぶた を閉める



4 再生ボタンを押す

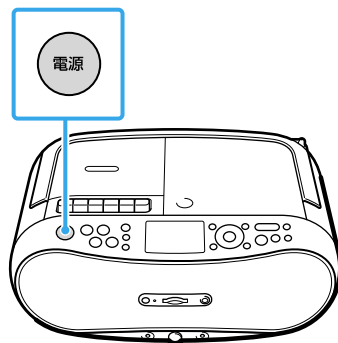


これでCDが聞けます！

電源について

本機は電源ボタンだけでなく、CDボタン、メモリーカードボタン、ラジオFM/AMボタン、テープ(マイク)ボタンでも電源を入れることができます。これらのボタンで電源を入れた場合は、電源が入ると同時に選んだファンクション(機能)に切り換わります。

電源を切るには、電源ボタンを押してください。



取扱
説明書

再生できるディスク について

次のCDを再生できます。

- 市販の音楽CD
- CD-R/RW (音楽データを記録したもの)

詳しくは、取扱説明書(別冊)の「再生できるディスクについて」(77ページ)をご覧ください。

DVD、BD (ブルーレイディスク)は再生できません。

メモリーカードを聞く

メモリーカードへの録音のしかたについては、
14～18ページをご覧ください。

聞く

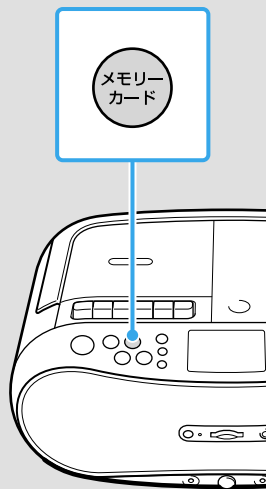
1 メモリーカード (別売)を用意する

本機ではSDカードと
メモリースティック™
が使えます。

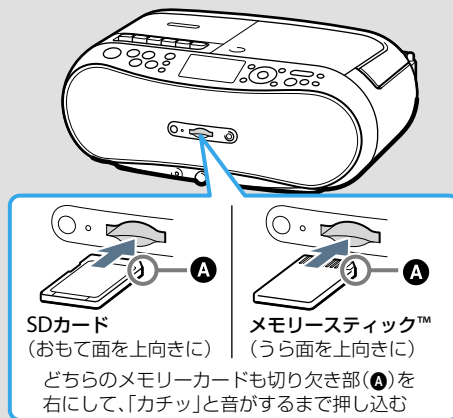


再生できるメモリー
カードについて詳しく
は、取扱説明書
(別冊)の「メモリー
カードの使用につい
て」(77ページ)を
ご覧ください。

2 メモリーカードボタン を押す



3 録音済みのメモリーカードを入れる



microSD、microSDHC、メモリースティックマイクロは、
それぞれ専用のアダプターに入れてから使用してください。
詳しくは、取扱説明書(別冊)の77ページをご覧ください。



メモリーカードを取り出すときは、もう一度押し込んで
手前に出してから抜き取ります。

4 再生を始める

最初の曲から聞くには

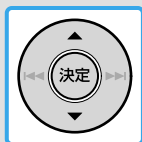


再生ボタン(▶||)を押す。



再生される曲の順番は、データCDの再生時と同じです。詳しくは、取扱説明書(別冊)の「データCD (MP3/WMA)の再生の順番について」(17ページ)をご覧ください。

選んだ曲から聞くには



① ▲▼ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す



音源を録音した時のファンクション名を選ぶ

② ▲▼ボタンでフォルダを選び、決定ボタンを押す



聞きたい曲が入っているフォルダ(グループ)を選ぶ

③ ▲▼ボタンで曲を選び、決定ボタンを押す



これでメモリーカードが聞けます！



メモリーカードのフォルダ構成について

本機を使ってメモリーカードに録音した曲や音声は、録音元のファンクションの名前のフォルダ(グループ)に分類され、それぞれのフォルダ内にオーディオファイルとして格納されます。

詳しくは、取扱説明書(別冊)の「メモリーカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて」(54ページ)をご覧ください。

ラジオを聞く

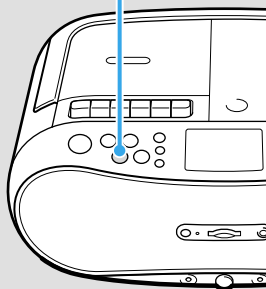
地域設定で登録された放送局を選局します。

マニュアル選局については、取扱説明書(別冊)の30ページをご覧ください。

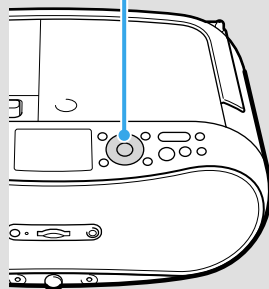
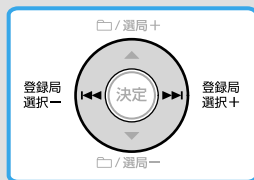
1 ラジオFM/AMボタンを 押してFMかAMを選ぶ



ボタンを押すたびにFMとAMが切り換わります。



2 聞きたい放送局を選ぶ。



これでラジオが聞けます！

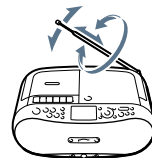
受信状態を良くするには

窓際など、電波を受信しやすい場所でお使いください。受信しやすい場所については、取扱説明書(別冊)の29ページをご覧ください。



FM放送のとき

アンテナを伸ばし、長さや角度を調節してください。



AM放送のとき

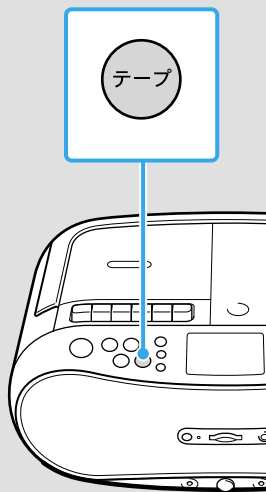
アンテナは本体に内蔵されています。受信状態の良い本体の向きを探してください。



改善しない場合は、取扱説明書(別冊)の28ページをご覧ください。付属のAMループアンテナを取り付けてください。

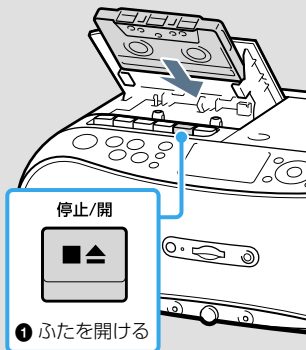
テープを聞く

1 テープボタンを押す

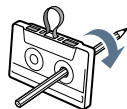


2 カセットを入れ、カセットぶたを閉める

- ② 聞きたい面を上向きにして、カセットを入れる

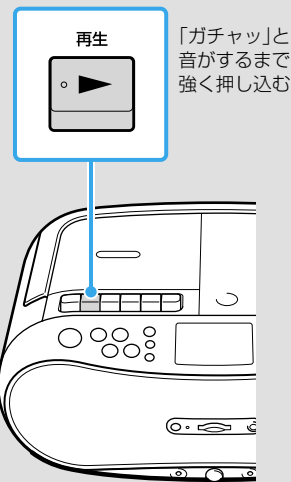


テープがたるんでいたら、鉛筆などで巻き取ってください。



3 再生ボタンを押す

(巻き込みを防ぐため、同時に巻戻しボタン(◀◀)を押さないでください。)



これでテープが聞けます！

ご注意 電源を切る場合は、必ず停止/開ボタン(■▲)で再生を停止してから電源ボタンを押してください。

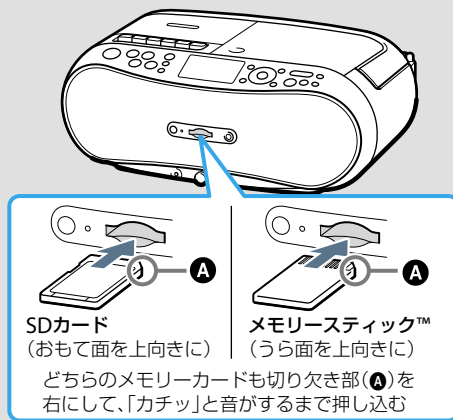
CDをメモリーカードに録音する

CDの全曲が録音されます。

1 CDボタンを押し、ディスクを入れる

「CDを聞く」(8ページ)の手順1～3をご覧ください。

2 メモリーカードを入れる

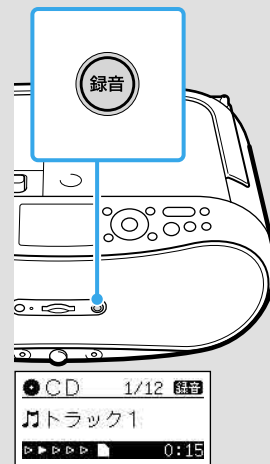


どちらのメモリーカードも切り欠き部(A)を右にして、「カチッ」と音がするまで押し込む

メモリーカードの空き容量の確認方法については取扱説明書(別冊)の43ページ、録音可能時間の目安については取扱説明書(別冊)の78ページをご覧ください。

💡メモリーカードを取り出すときは、もう一度押し込んで手前に出してから抜き取ります。

3 CDが停止中に、録音ボタンを押す



これで録音が始まります！

💡CD収録時間の約半分の時間で録音されます。録音中は音は出ません。

ラジオをメモリーカードに録音する

録音を途中でやめるには

停止ボタン(■)を押してください。

1曲だけ録音するには

録音したい曲の再生中または一時停止中に録音ボタンを押してください。

1 録音したい放送局を受信する

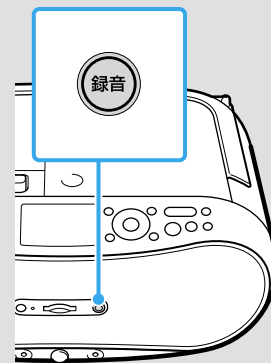
「ラジオを聞く」(12ページ)の手順1～2をご覧ください。

2 メモリーカードを入れる(14ページ)

メモリーカードの空き容量の確認方法については取扱説明書(別冊)の43ページ、録音可能時間の目安については取扱説明書(別冊)の78ページをご覧ください。

💡 一度に24時間まで録音できます。

3 録音ボタンを押す



これで録音が始まります！

💡 録音をやめるには、停止ボタン(■)を押してください。

ラジオを予約録音する

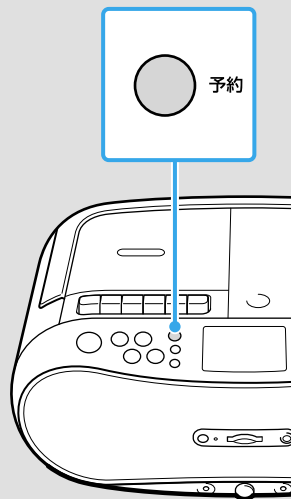
1 メモリーカードを入れる (14ページ)

本機の電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

メモリーカードの空き容量の確認方法については取扱説明書(別冊)の43ページ、録音可能時間の目安については取扱説明書(別冊)の78ページをご覧ください。

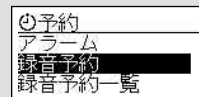
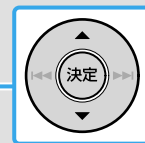
テープに直接予約録音することはできません。まずメモリーカードに予約録音してから、テープに録音し直してください(20ページ)。

2 予約ボタンを押す



3 予約を設定する 10件まで予約できます。

- ① ▲▼ボタンで「録音予約」を選び、決定ボタンを押す



テープをメモリーカードに録音する

1 テープボタンを押し、カセットを入れる

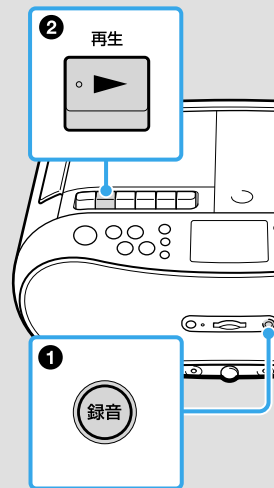
「テープを聞く」(13ページ)の手順1～2をご覧ください。

あらかじめ、録音を開始したい位置でテープを止めておいてください。

2 メモリーカードを入れる (14ページ)

メモリーカードの空き容量の確認方法については取扱説明書(別冊)の43ページ、録音可能時間の目安については取扱説明書(別冊)の78ページをご覧ください。

3 録音ボタンを押し(①)、テープを再生する(②)



これで録音が始まります！

💡 録音を途中でやめるには、停止ボタン(■)を押してください。

CDをテープに録音する

CDの最初の曲から録音されます。

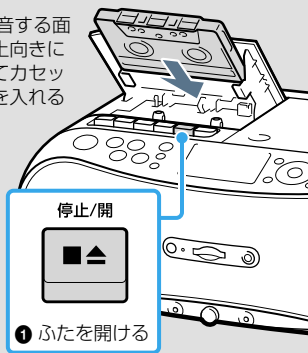
テープ片面の最後まで録音されると、操作ボタンが元に戻り、録音が停止します。

1 CDボタンを押し、ディスクを入れる

「CDを聞く」(8ページ)の手順1～3をご覧ください。

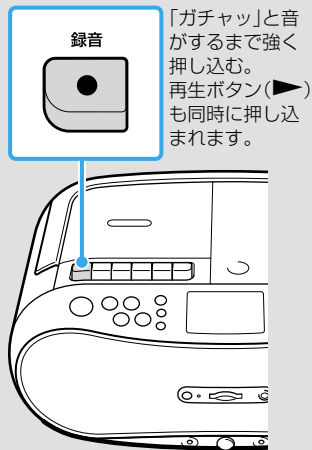
2 カセットを入れ、カセットぶたを閉める

② 録音する面を上向きにしてカセットを入れる



① ぶたを開ける

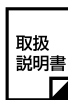
3 CDが停止中に、テープの録音ボタンを押す



「ガチャッ」と音がするまで強く押し込む。再生ボタン(▶)も同時に押し込まれます。

これで録音が始まります！

💡 録音を途中でやめるには、停止/開ボタン(■▲)を押ししてください。

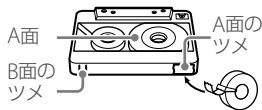


CDの途中から録音するには

取扱説明書(別冊)の51ページをご覧ください。

録音の途中でテープの片面がいっぱいになったときは、カセットを裏返し、録音が中断されたCDの曲の先頭に◀◀ボタンで戻してから、テープの録音を再開してください。

- 録音できるテープはTYPE I (ノーマル)のみです。
- 録音の頭切れを防ぐために、テープの端のリーダーテープ部(色の違う部分)をあらかじめ鉛筆などで巻いて送ってください。
- カセットのツメが折れていると録音できません。穴をセロハンテープなどでふさいでお使いください。



ご注意 電源を切る場合は、必ず停止/開ボタン(■▲)で録音を停止してから電源ボタンを押ししてください。

メモリーカードをテープに録音する

メモリーカードの最初の曲から録音されます。

テープ片面の最後まで録音されると、操作ボタンが元に戻り、録音が停止します。

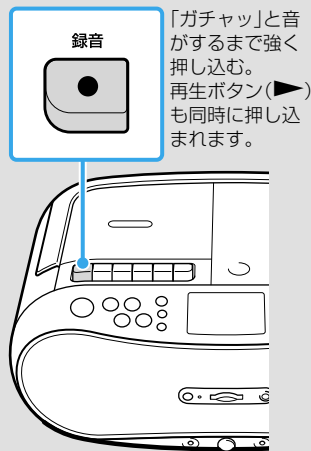
1 メモリーカードボタンを押し、メモリーカードを入れる

「メモリーカードを聞く」(10ページ)の手順1～3をご覧ください。

2 カセットを入れる (19ページ)

- 録音できるテープはTYPE I (ノーマル)のみです。
- 録音の頭切れを防ぐために、テープの端のリーダーテープ部(色の違う部分)をあらかじめ鉛筆などで巻いて送ってください。
- カセットのツメが折れていると録音できません。穴をセロハンテープなどでふさいでお使いください。

3 テープの録音ボタンを押す



これで録音が始まります！

💡 録音を途中でやめるには、停止/開ボタン(■▲)を押してください。

メモリーカードの途中から録音するには

メモリーカードの再生中、録音を開始したいところで停止ボタン(■)を押してから、テープの録音ボタン(●)を押してください。

録音の途中でテープの片面がいっぱいになったときは、カセットを裏返し、録音が中断されたメモリーカードの曲の先頭に◀◀ボタンで戻してから、テープの録音を再開してください。

ラジオをテープに録音する

1 録音したい放送局を受信する

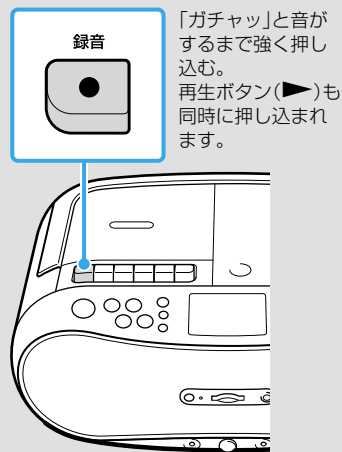
「ラジオを聞く」(12ページ)の手順1～2をご覧ください。

テープにラジオの予約録音(16ページ)をすることはできません。

2 カセットを入れる(19ページ)

- 録音できるテープはTYPE I (ノーマル)のみです。
- 録音の頭切れを防ぐために、テープの端のリーダーテープ部(色の違う部分)をあらかじめ鉛筆などで巻いて送ってください。
- カセットのツメが折れていると録音できません。穴をゼロハンテープなどでふさいでお使いください。

3 テープの録音ボタンを押す

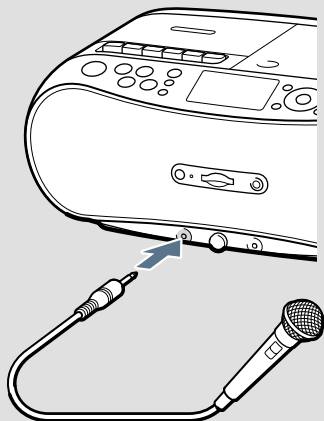


これで録音が始まります！

💡 録音をやめるには、停止/開ボタン(■▲)を押してください。

カラオケをする

1 マイク(別売り)をつなぐ



- 本機では次のプラグ形状のマイクが使えます。



1本線(2極)
モノラルミニプラグ

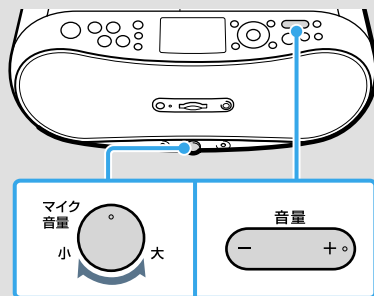


2本線(3極)
ステレオミニプラグ

- プラグインパワー方式のマイクは使えません。

2 CD、メモリーカードまたはテープを再生する

「CDを聞く」(8ページ)、「メモリーカードを聞く」(10ページ)または「テープを聞く」(13ページ)の手順をご覧ください。



音量ボタンとマイク音量つまみで音量を調節する

これでカラオケができます！

💡 テープ(マイク)ボタンを押し、つないだマイクに向かって話すと、拡声器としても使えます。

取扱
説明書

カラオケを録音 したいときは

カラオケやマイクの音声だけをメモリーカードやテープに録音できます。

詳しくは、取扱説明書(別冊)の「カラオケやマイクの音声を録音する」(58ページ)をご覧ください。

次のことは、別冊の「取扱説明書」をご覧ください

CD/メモリーカードの いろいろな再生方法

→ 23ページ

通常再生のほかに、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などお好みに合わせて再生できます。

メモリーカードのデータ の削除

→ 53ページ
65ページ

曲やフォルダを選択して削除したり、メモリーカード上のすべてのデータを一度に削除することができます。

おやすみタイマー

→ 36ページ

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。音楽やラジオを聞きながら眠りにつくことができます。

時刻の自動補正機能

→ 63ページ

NHKの時報を検出し、本機の現在時刻を自動的に補正します。

アラーム

→ 37ページ

指定した時刻に好きな音源をアラームとしてタイマー再生できます。

ラジオの放送局を選んで 登録する

→ 66ページ

地域設定で登録されない放送局を個別に登録することができます(ラジオ局手動登録)。

